

| |
|-----------------------------|
| 総務財政委員会 令和3年11月30日・12月1日 |
| 企画経営部 資料1番 |
| 所管 広聴広報課 |

大田区政に関する世論調査（令和3年7月実施）の結果の概要について

1 調査概要

[調査目的] 大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握し、区政運営や政策立案の基礎資料とするため。

[設問設計] 設問数は主質問 29 問、自由意見及びフェイスシート（回答者属性） 6 問。

(1) 経年比較を行っている事項、自由意見等

(2) 各部局で、広く区民の意向等を把握したい事項

[調査対象] 大田区内に在住する満 18 歳以上の男女個人 4,000 人（外国人を含む）

[回収数] 2,287 人

[回収率] 57.2%

[有効回収数] 2,284 人（電子申請 569 人含む）

[有効回収率] 57.1%

[抽出方法] 層化無作為抽出法

[調査方法] 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え電子申請（パソコン・スマートフォン）も実施）

[調査期間] 令和3年7月14日（水）から8月2日（月） 20日間

2 主な調査結果

定住意向

ずっと住みたい(53.9%)②当分は住みたい(28.9%)を合わせた定住意向(計)(82.8%)。

ずっと住みたい(理由)

⇒「土地、建物を持っているから」「住環境がよいから」「自分又は配偶者の出身地だから」の順。

施策要望

「防災対策」(62.8%)、「防犯対策」(52.6%)、「保健・健康（休日診療を含む）」(41.0%)

3 調査報告書等の公表

- ・ 区報及び区ホームページへの掲載
- ・ 調査対象者への概要版の送付
- ・ 区政情報コーナー、区立図書館、大田文化の森情報館等で概要版等の閲覧及び配布)



大田区シンボルマーク

大田区政に関する世論調査

令和3年7月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

令和3年12月

大田区 企画経営部 広聴広報課

■調査概要

| | |
|-------|--|
| 対象者 | 区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む） |
| 対象数 | 4,000人 |
| 回収数 | 2,287人 |
| 回収率 | 57.2% |
| 有効回収数 | 2,284人（電子申請での回答含む） |
| 有効回収率 | 57.1% |
| 抽出方法 | 層化無作為抽出法 |
| 調査方法 | 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施） |

■グラフの見方

- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を超えることがある。

1. 定住性

- (1) 居住年数
- ☆ (2) 定住意向【P2】
- ☆ (3) ずっと住みたい理由【P2】
- (4) 当分は住みたい期間
- ☆ (5) 住んでいるまちが魅力的か【P3】

2. 暮らしやすさ

- ☆ (1) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P3】
- ☆ (2) 生活環境の満足度【P4】
- ☆ (3) 住んでいるまちにどのようになってほしいか【P5】

3. 緊急対策

- ☆ (1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと【P6】

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち

- ☆ (1) 健康状態【P6】

5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち

- ☆ (1) 男女の地位平等【P7】
- ☆ (2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先【P8】

6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち

- ☆ (1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時【P9】
- ☆ (2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度【P10】

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち

- ☆ (1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P10】

8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち

- ☆ (1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度【P11】

9. 持続可能な国際交流・多文化共生

- ☆ (1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P11】

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住みたいまち

- ☆ (1) 地域活動への参加意向【P12】
- ☆ (2) 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか【P13】

11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり

- ☆ (1) 防災に対する意識【P13】
- ☆ (2) 災害情報の入手手段【P14】
- ☆ (3) 住んでいるまちの治安の変化【P15】

12. 持続可能な地球環境

- ☆ (1) 地球温暖化防止への関心度【P15】
- (2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動

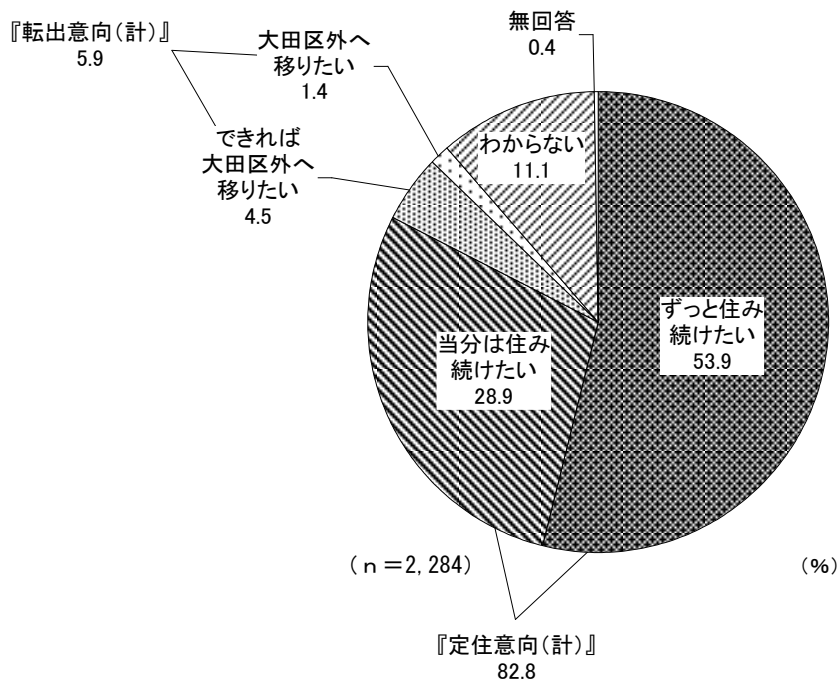
13. 区政への関心と要望

- ☆ (1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度【P16】
- ☆ (2) 施策要望【P17】
- ☆ (3) 区内施設の利用目的【P18】
- ☆ (4) 区の媒体の利用頻度【P19】
- ☆ (5) 区の行政サービスや窓口への印象【P20】
- (6) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由
- (7) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思わない理由
- ☆ (8) 区の職員の窓口や電話対応への印象【P20】
- ☆ (9) 区政への参加意向【P21】
- (10) 区政に参加したいと思わない理由

1. 定住性

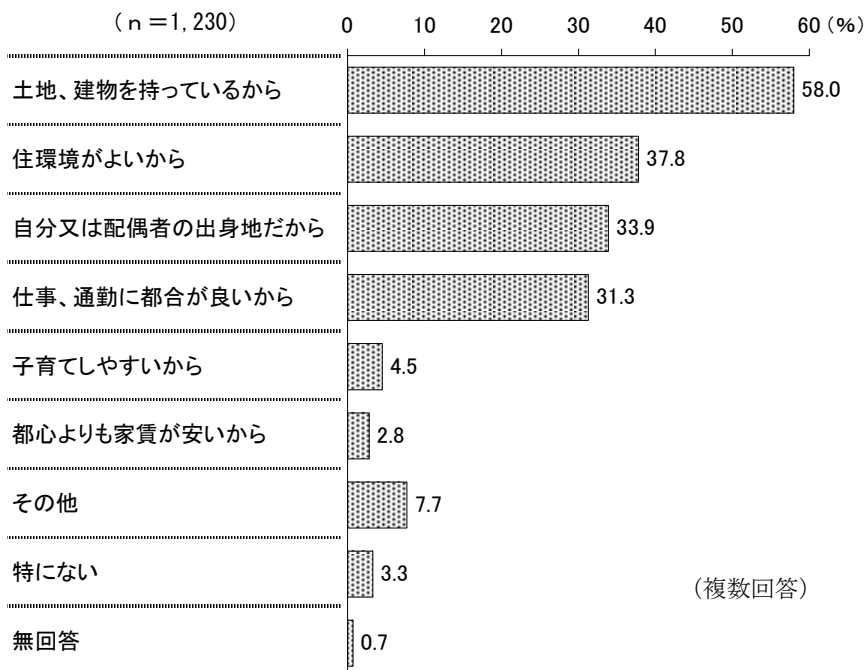
■ 定住意向・・・『定住意向（計）』は8割を超える

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」（53.9%）が5割を超えて最も高く、これに「当分は住み続けたい」（28.9%）を合わせた『定住意向（計）』（82.8%）は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（4.5%）と「大田区外へ移りたい」（1.4%）を合わせた『転出意向（計）』（5.9%）は1割未満となっている。



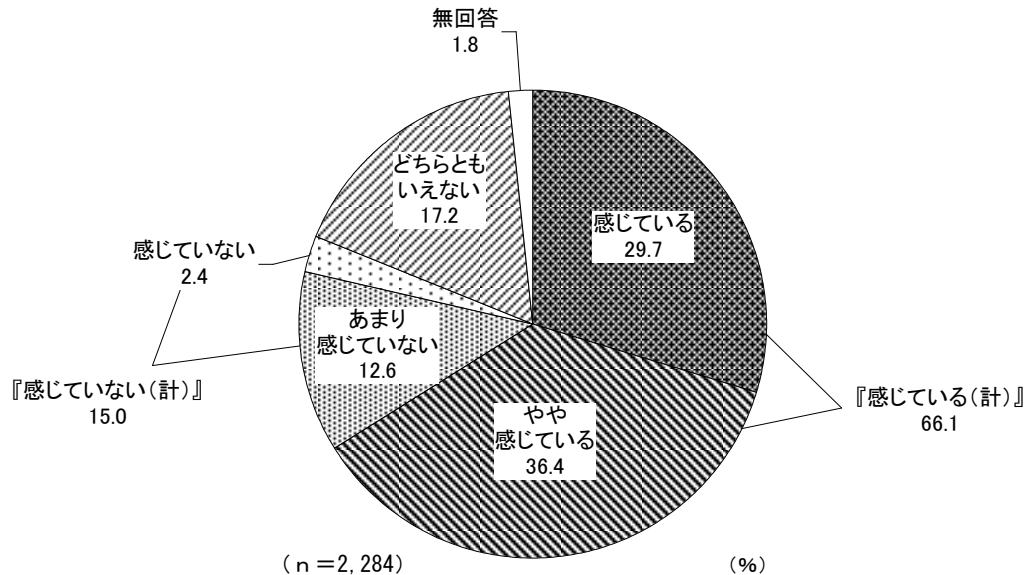
■ ずっと住み続けたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が6割近く

これからも大田区に「ずっと住み続けたい」と答えた人（1,230人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（58.0%）が6割近くで最も高く、次いで「住環境がよいから」（37.8%）、「自分又は配偶者の出身地だから」（33.9%）、「仕事、通勤に都合が良いから」（31.3%）などの順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている（計）』は6割半ば

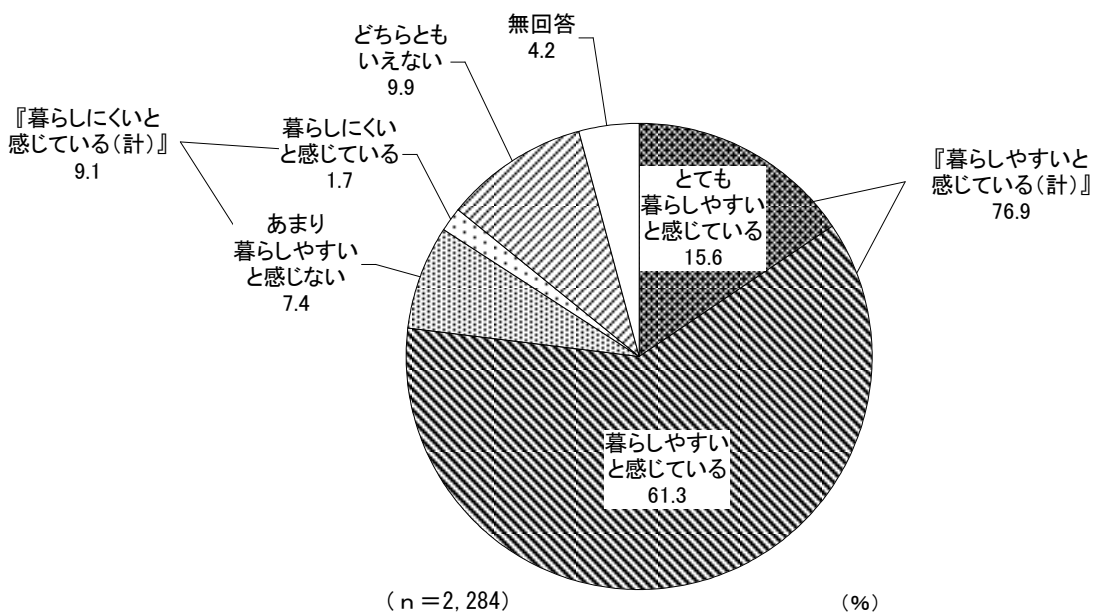
住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」（29.7%）と「やや感じている」（36.4%）を合わせた『感じている（計）』（66.1%）は6割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」（12.6%）と「感じていない」（2.4%）を合わせた『感じていない（計）』（15.0%）は1割半ばとなっている。



2. 暮らしやすさ

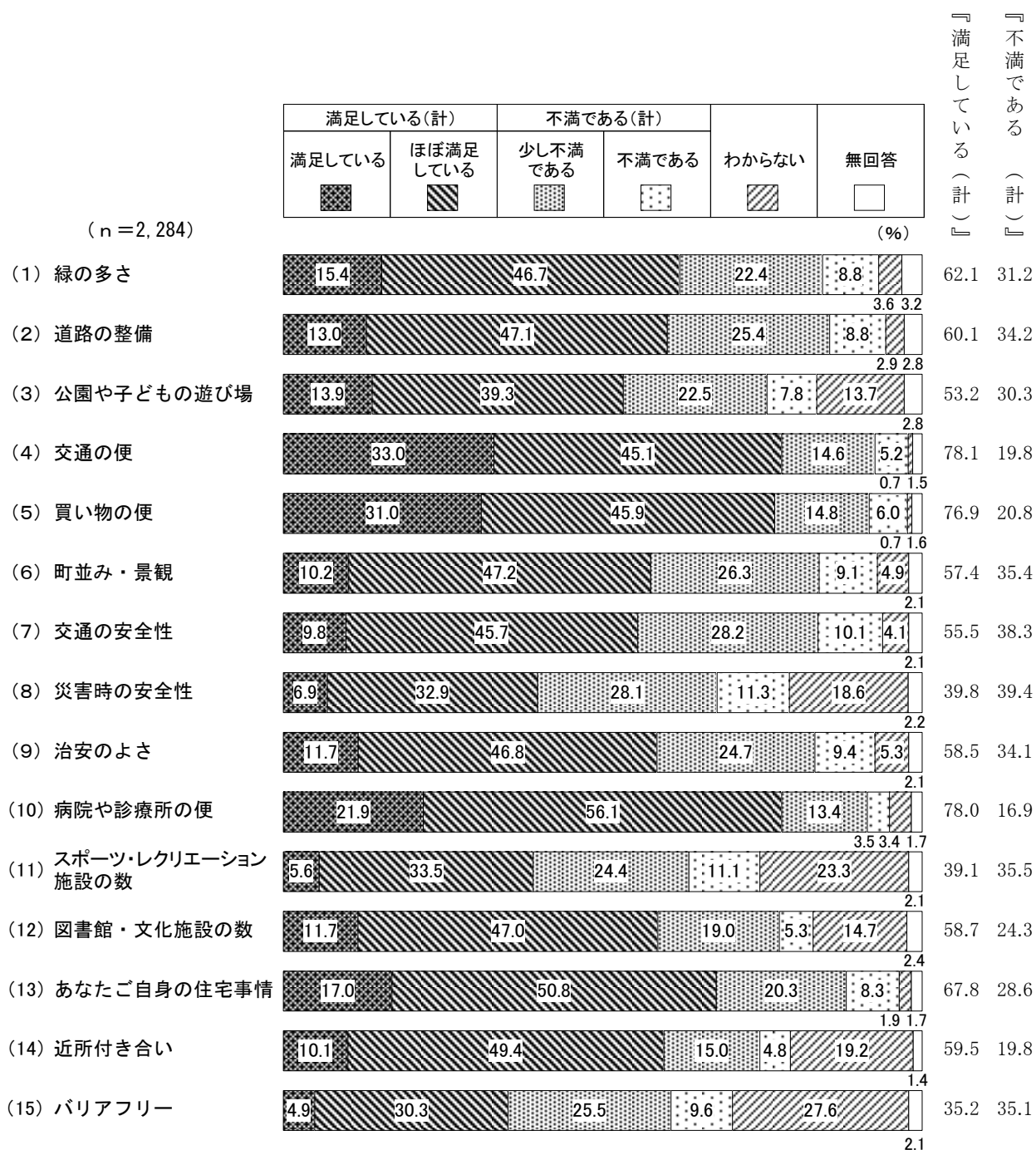
■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている（計）』は8割近く

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」（61.3%）が6割を超えて最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」（15.6%）を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』（76.9%）は8割近くとなっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」（7.4%）と「暮らしにくいと感じている」（1.7%）を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』（9.1%）は約1割となっている。



■生活環境の満足度・・・『満足している(計)』は「交通の便」、「病院や診療所の便」、「買い物の便」で8割近く

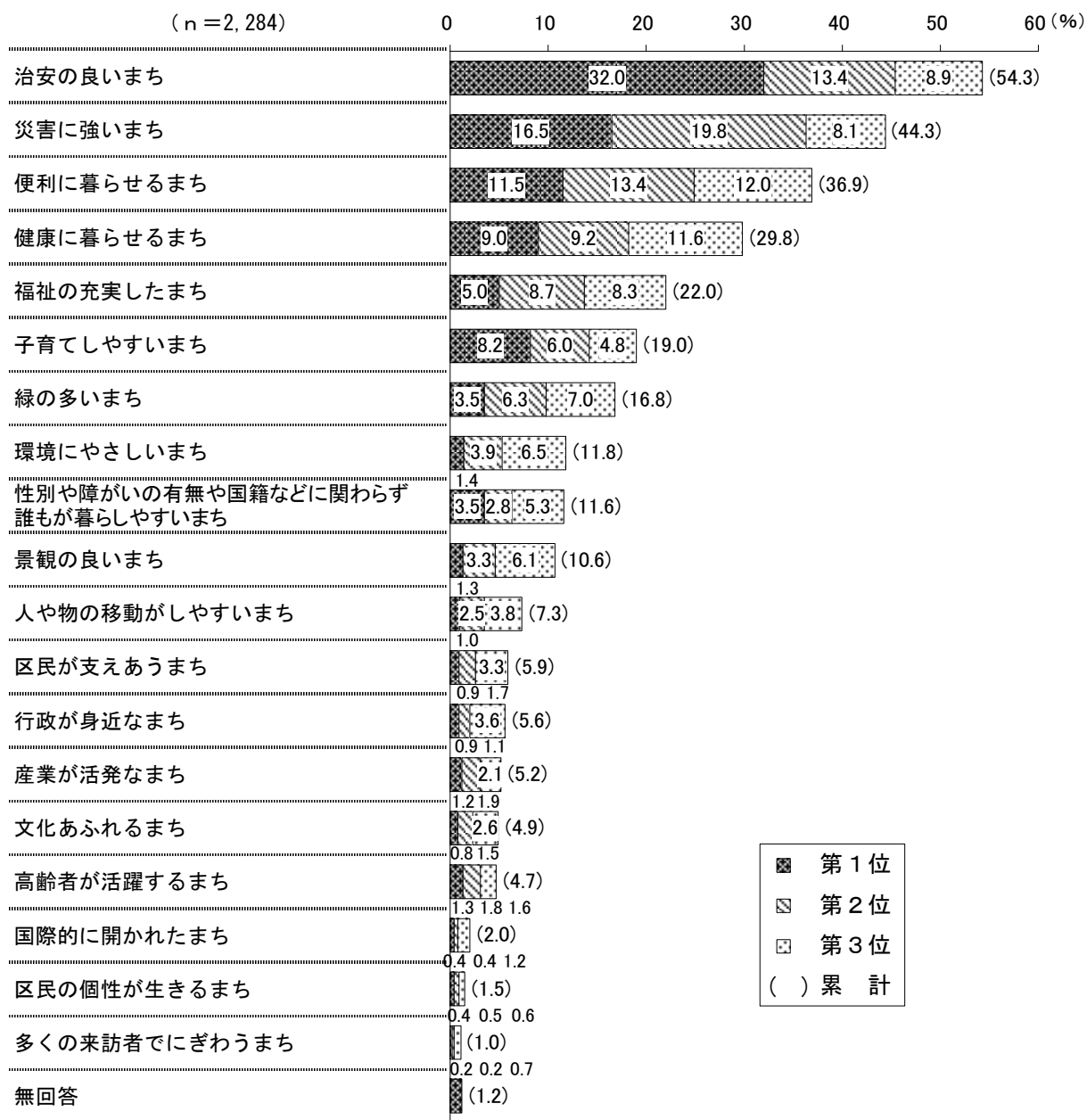
住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」(78.1%)、「病院や診療所の便」(78.0%)、「買い物の便」(76.9%)の3項目で8割近くと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「災害時の安全性」(39.4%)で約4割と最も高く、次いで「交通の安全性」(38.3%)、「スポーツ・レクリエーション施設の数」(35.5%)などの順になっている。



■住んでいるまちにどのようなになってほしいか・・・《累計》では「治安の良いまち」が5割半ば

住んでいるまちにどのようなになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(32.0%)が3割を超えて最も高く、次いで「災害に強いまち」(16.5%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》で見ると、「治安の良いまち」(54.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「災害に強いまち」(44.3%)、「便利に暮らせるまち」(36.9%)、「健康に暮らせるまち」(29.8%)などの順になっている。

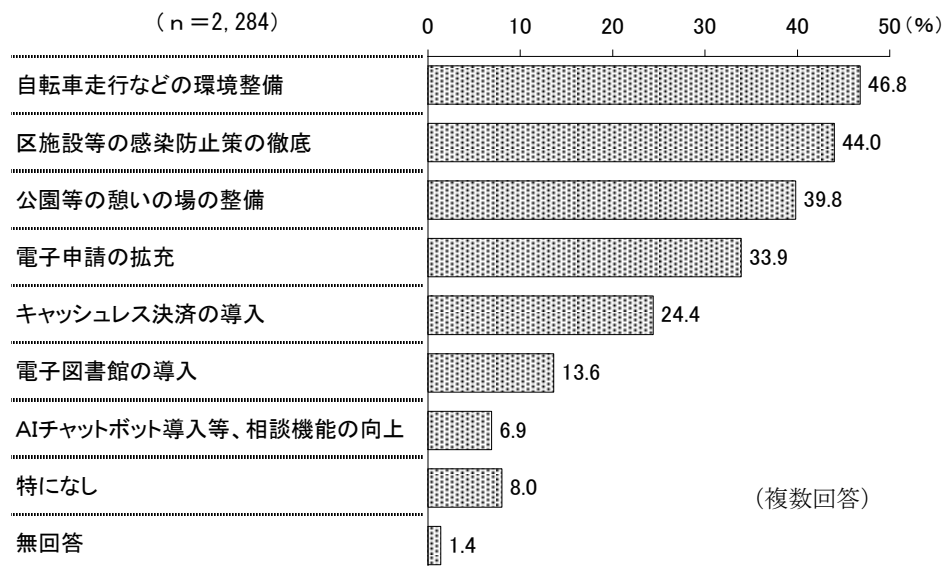


3. 緊急対策

■ 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと

・・・「自転車走行などの環境整備」が5割近く

「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいことを聞いたところ、「自転車走行などの環境整備」(46.8%)が5割近くで最も高く、次いで「区施設等の感染防止策の徹底」(44.0%)、「公園等の憩いの場の整備」(39.8%)、「電子申請の拡充」(33.9%)などの順になっている。

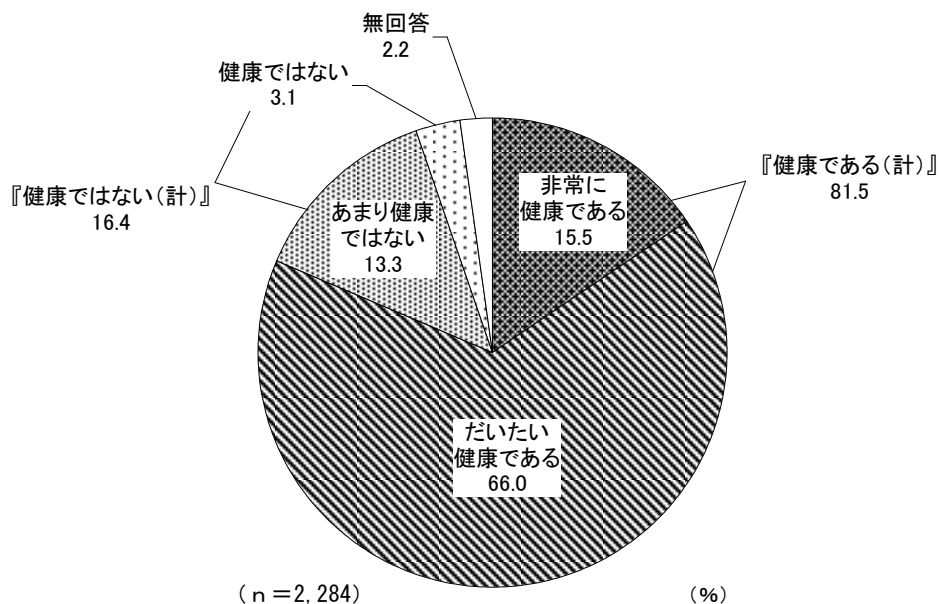


《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち

■ 健康状態・・・『健康である(計)』は8割を超える

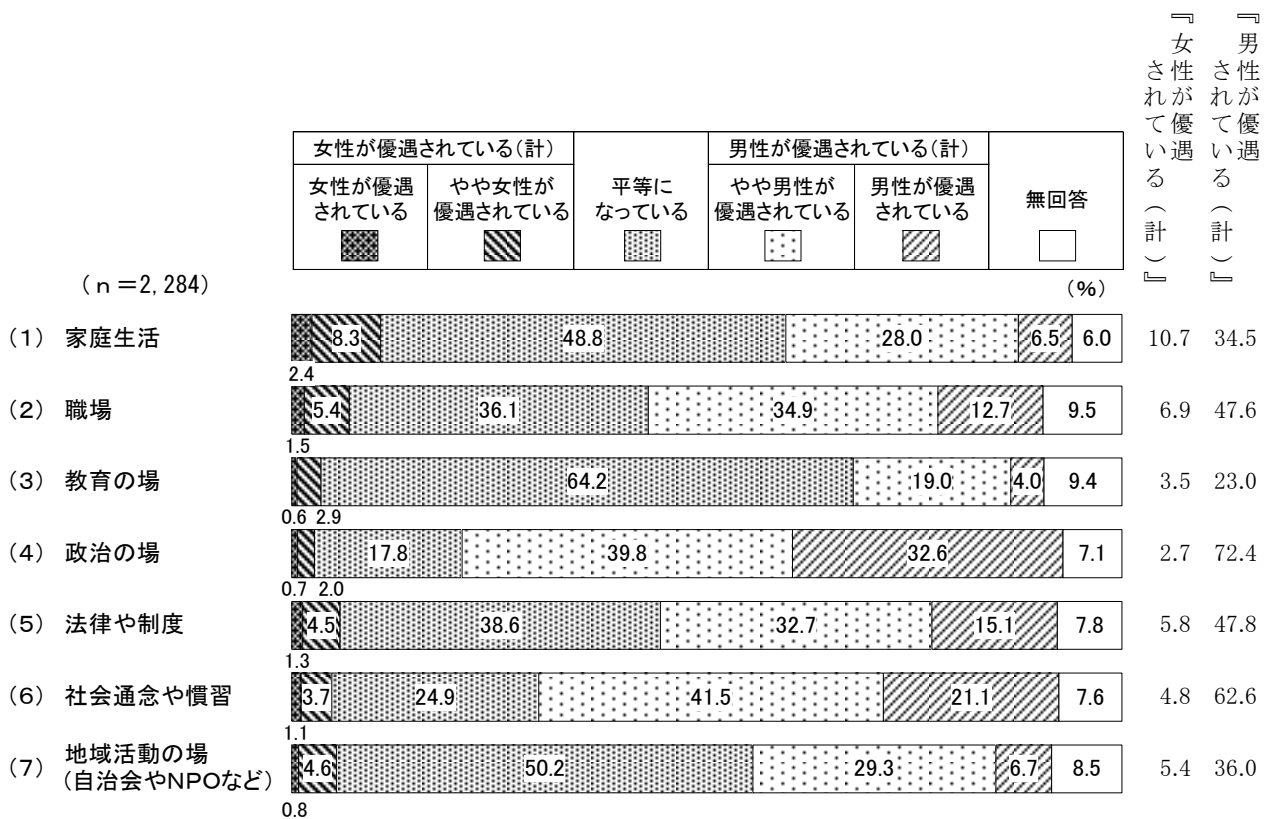
健康状態をどのように感じているか聞いたところ、「だいたい健康である」(66.0%)が6割半ばで最も高く、これに「非常に健康である」(15.5%)を合わせた『健康である(計)』(81.5%)は8割を超えている。一方、「あまり健康ではない」(13.3%)と「健康ではない」(3.1%)を合わせた『健康ではない(計)』(16.4%)は1割半ばとなっている。



5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち

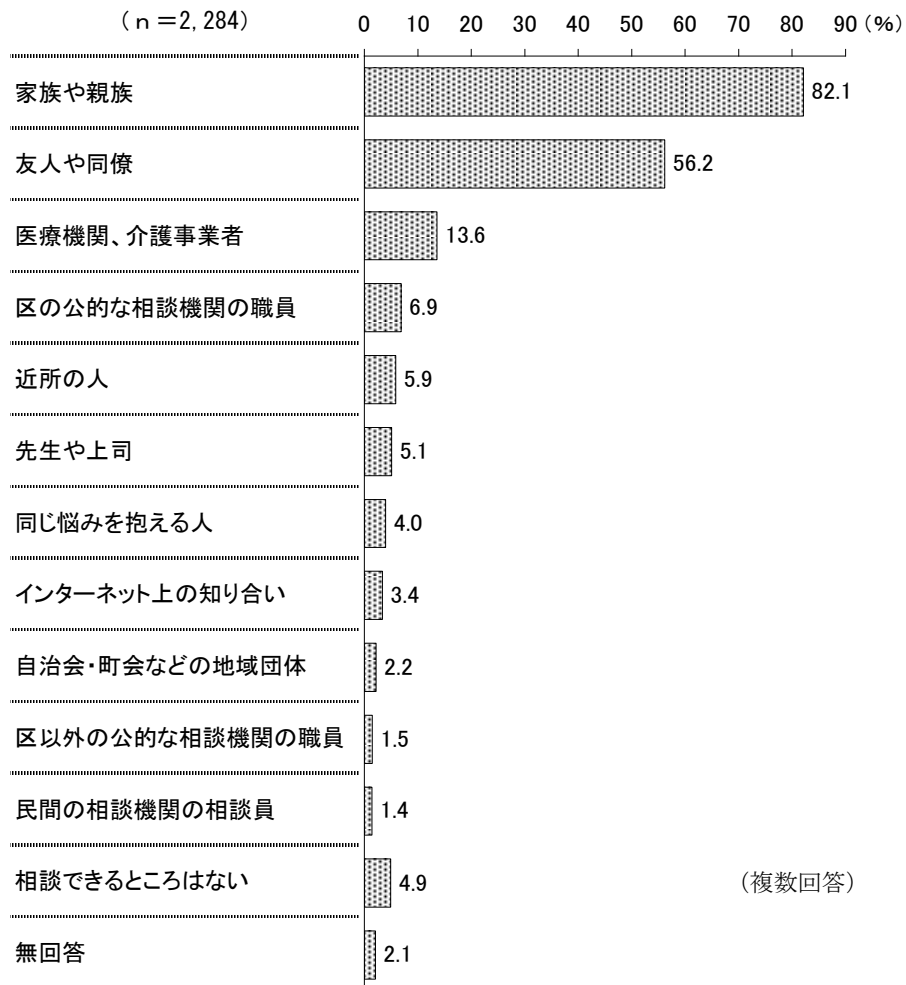
- 男女の地位平等・・・『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”で約1割
 『平等になっている』は“教育の場”で6割半ば
 『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”で7割を超える

男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”（10.7%）で約1割となっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”（72.4%）で7割を超え、“社会通念や慣習”（62.6%）で6割を超えて高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”（64.2%）で6割半ば、“地域活動の場（自治会やNPOなど）”（50.2%）で5割と高くなっている。



■ 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先・・・「家族や親族」が8割を超える

日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談しているか聞いたところ、「家族や親族」(82.1%)が8割を超えて最も高く、次いで「友人や同僚」(56.2%)、「医療機関、介護事業者」(13.6%)などの順になっている。



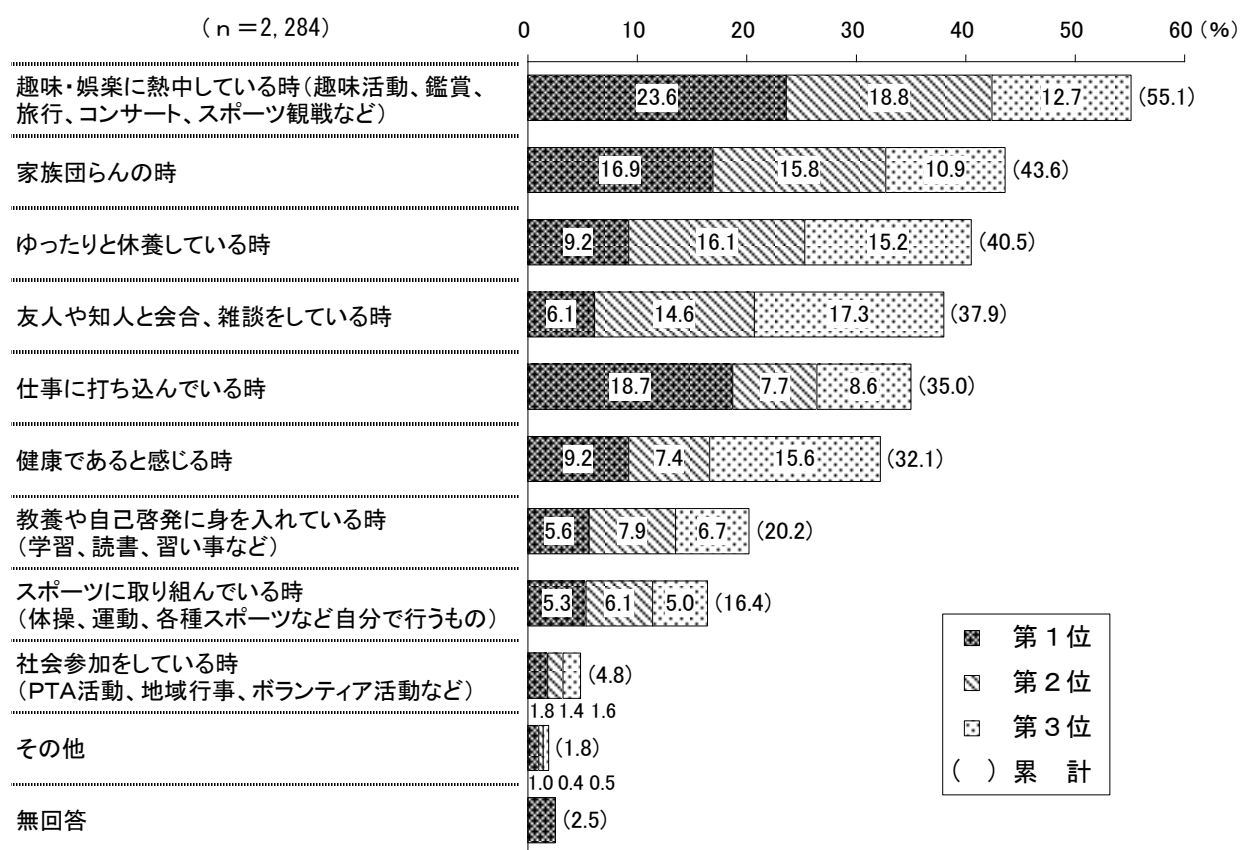
6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち

■ 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時

・・・《累計》では「趣味・娯楽に熱中している時」が5割半ば

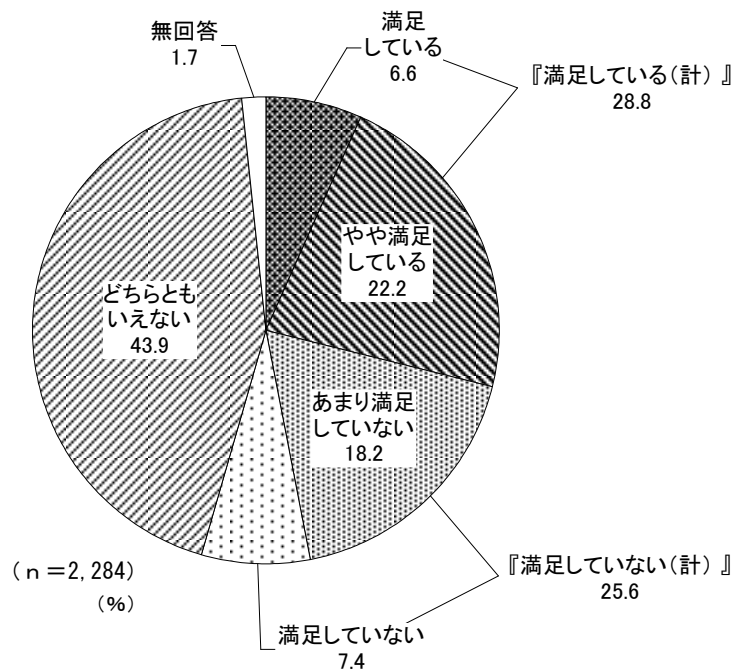
日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのほどのような時か聞いたところ、第1位では「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（23.6%）が2割を超えて最も高く、次いで「仕事に打ち込んでいる時」（18.7%）、「家族団らんの時」（16.9%）などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（55.1%）が5割半ばで最も高く、次いで「家族団らんの時」（43.6%）、「ゆったりと休養している時」（40.5%）、「友人や知人と会合、雑談をしている時」（37.9%）などの順になっている。



■区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度・・・『満足している(計)』は3割近く

区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(6.6%)と「やや満足している」(22.2%)を合わせた『満足している(計)』(28.8%)は3割近くとなっている。一方、「あまり満足していない」(18.2%)と「満足していない」(7.4%)を合わせた『満足していない(計)』(25.6%)は2割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(43.9%)は4割を超えている。

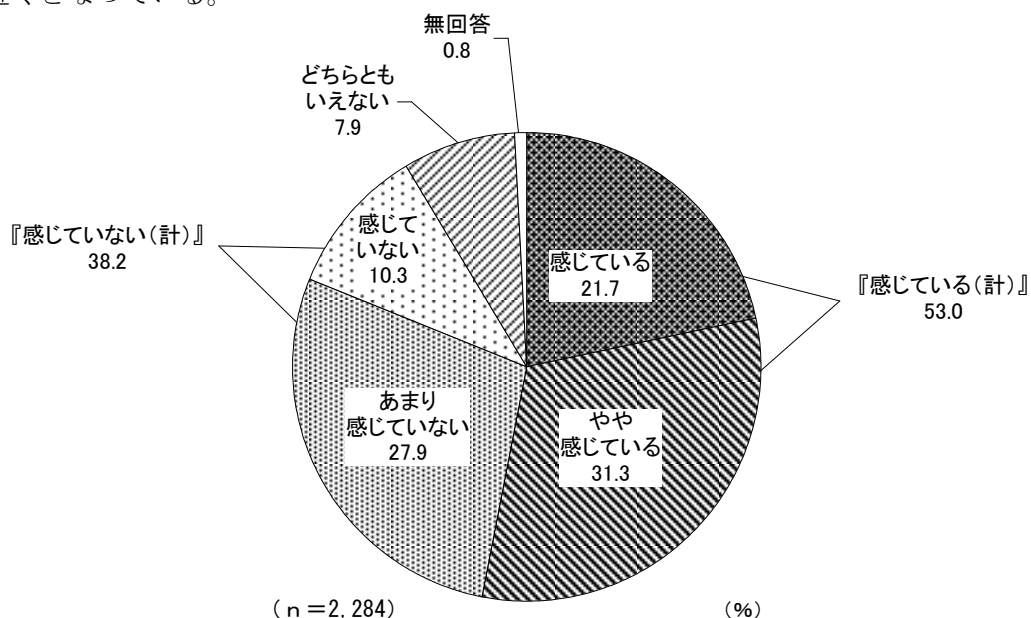


《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている(計)』は5割を超える

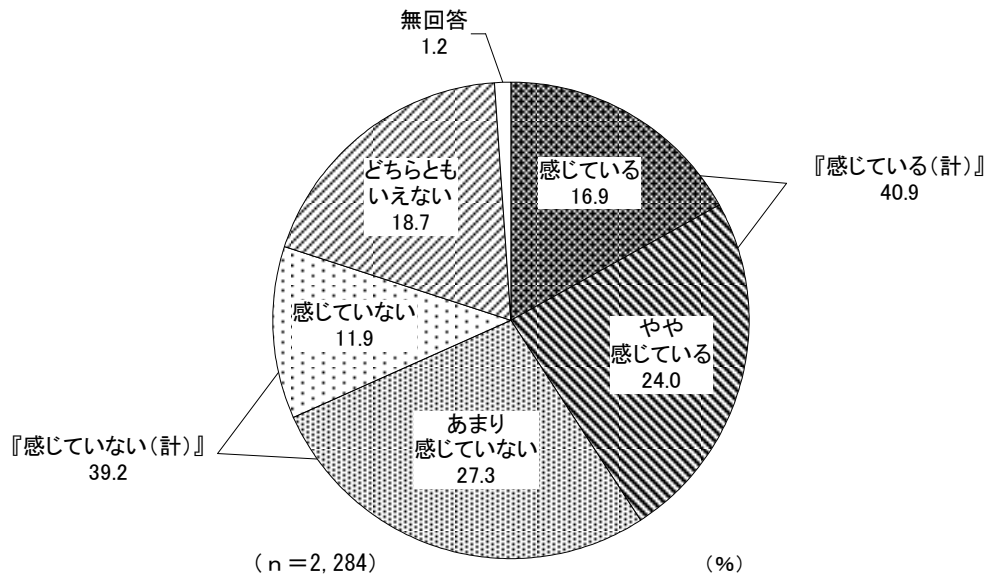
身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(21.7%)と「やや感じている」(31.3%)を合わせた『感じている(計)』(53.0%)は5割を超えている。一方、「あまり感じている」(27.9%)と「感じている」(10.3%)を合わせた『感じている(計)』(38.2%)は4割近くとなっている。



8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち

■羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度・・・『感じている（計）』は約4割

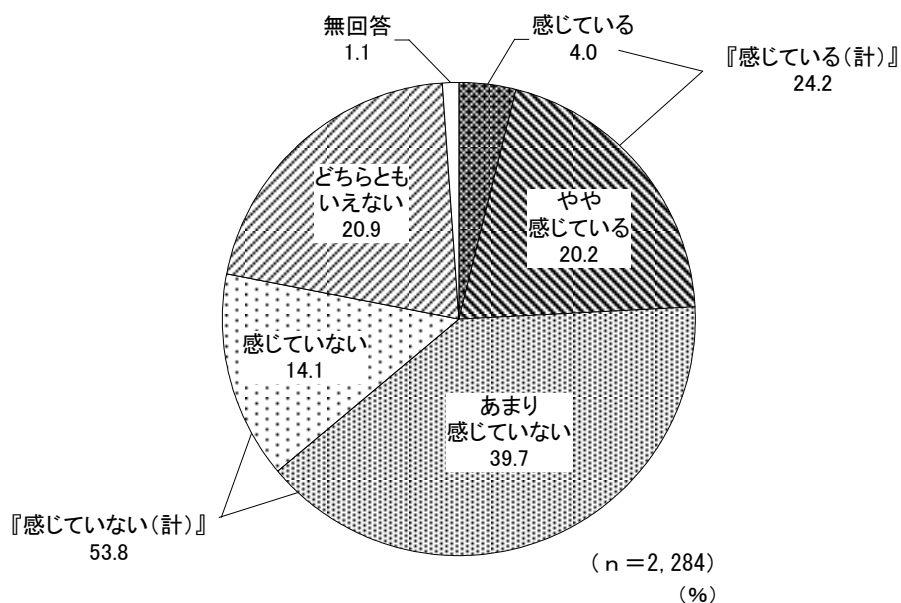
羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じているか聞いたところ、「感じている」(16.9%)と「やや感じている」(24.0%)を合わせた『感じている（計）』(40.9%)は約4割となっている。一方、「あまり感じていない」(27.3%)と「感じていない」(11.9%)を合わせた『感じていない（計）』(39.2%)は約4割となっている。



9. 持続可能な国際交流・多文化共生

■大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか・・・『感じている（計）』は2割半ば

大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(4.0%)と「やや感じている」(20.2%)を合わせた『感じている（計）』(24.2%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(39.7%)と「感じていない」(14.1%)を合わせた『感じていない（計）』(53.8%)は5割を超えている。

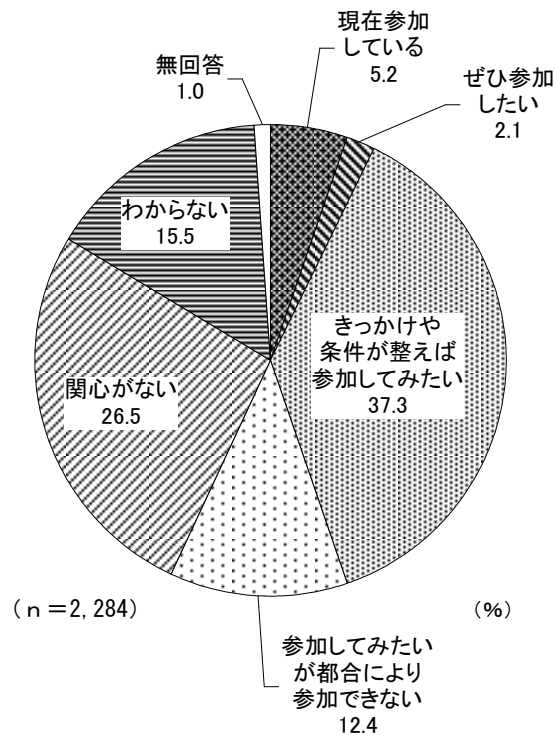


《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住み続けたいまち

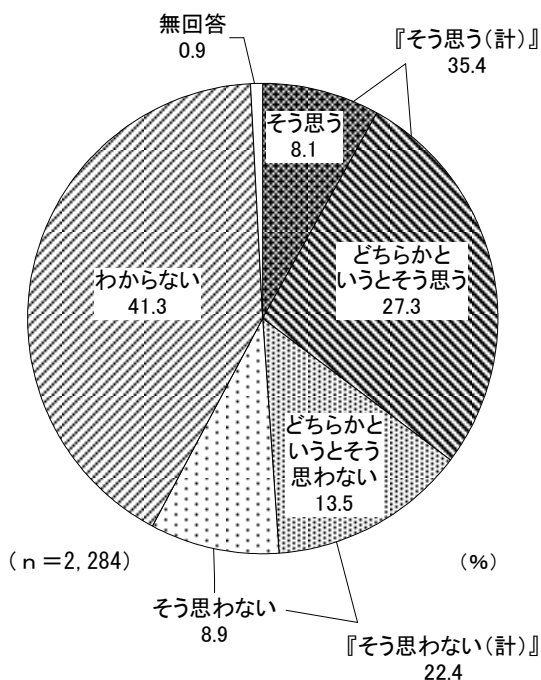
■地域活動への参加意向・・・「きっかけや条件を整えば参加してみたい」が4割近く

現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思うか聞いたところ、「現在参加している」(5.2%)と「ぜひ参加したい」(2.1%)は1割未満、「きっかけや条件を整えば参加してみたい」(37.3%)が4割近くとなっている。一方、「参加してみたいが都合により参加できない」(12.4%)は1割を超え、「関心がない」(26.5%)は3割近くとなっている。



■区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか・・・『そう思う（計）』は3割半ば

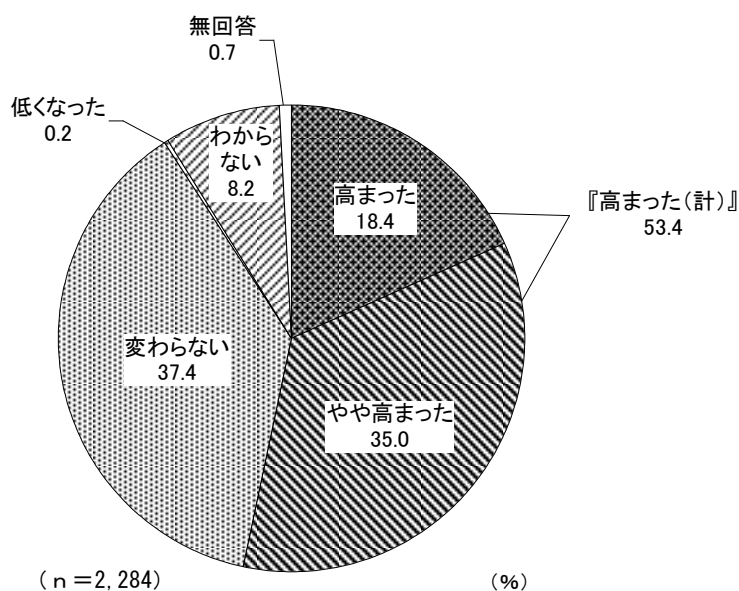
区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか聞いたところ、「そう思う」（8.1%）と「どちらかというと思う」（27.3%）を合わせた『そう思う（計）』（35.4%）は3割半ばとなっている。一方、「どちらかというと思わない」（13.5%）と「そう思わない」（8.9%）を合わせた『そう思わない（計）』（22.4%）は2割を超えている。



11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり

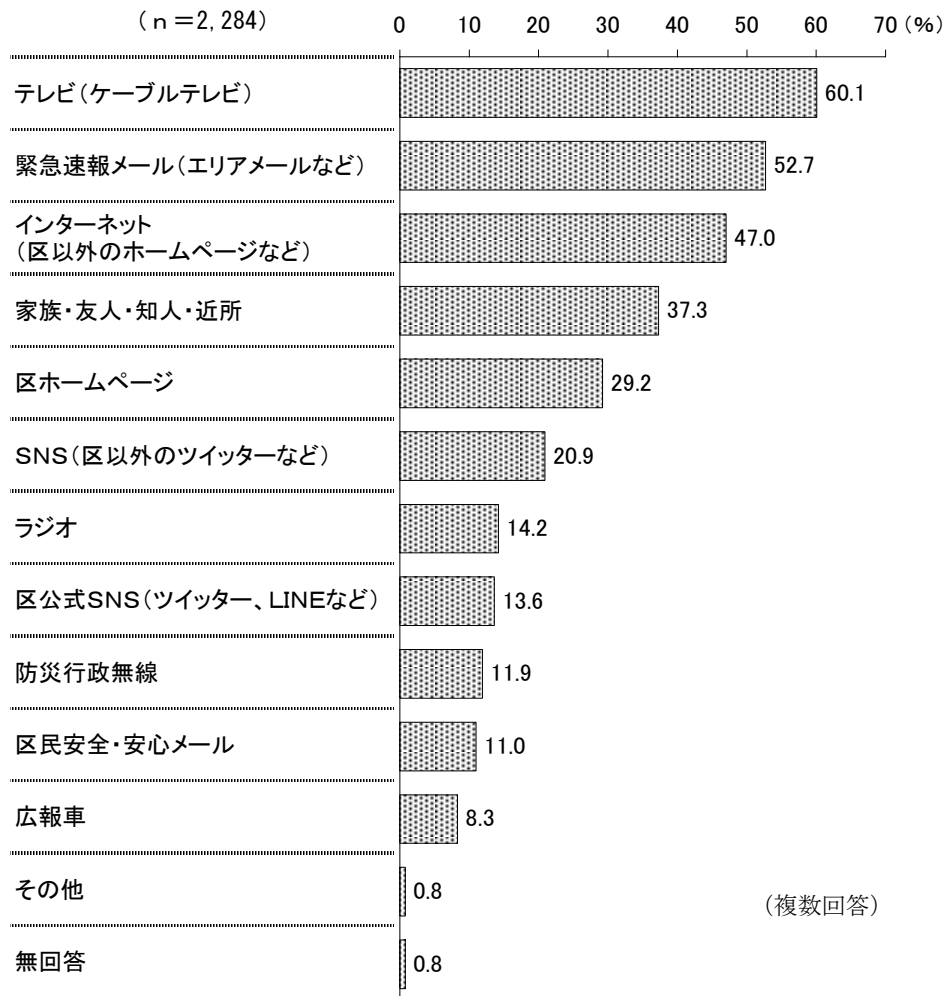
■防災に対する意識・・・『高まった（計）』は5割を超える

1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思うか聞いたところ、「高まった」（18.4%）と「やや高まった」（35.0%）を合わせた『高まった（計）』（53.4%）は5割を超えている。一方、「変わらない」（37.4%）は4割近く、「低くなった」（0.2%）はわずかとなっている。



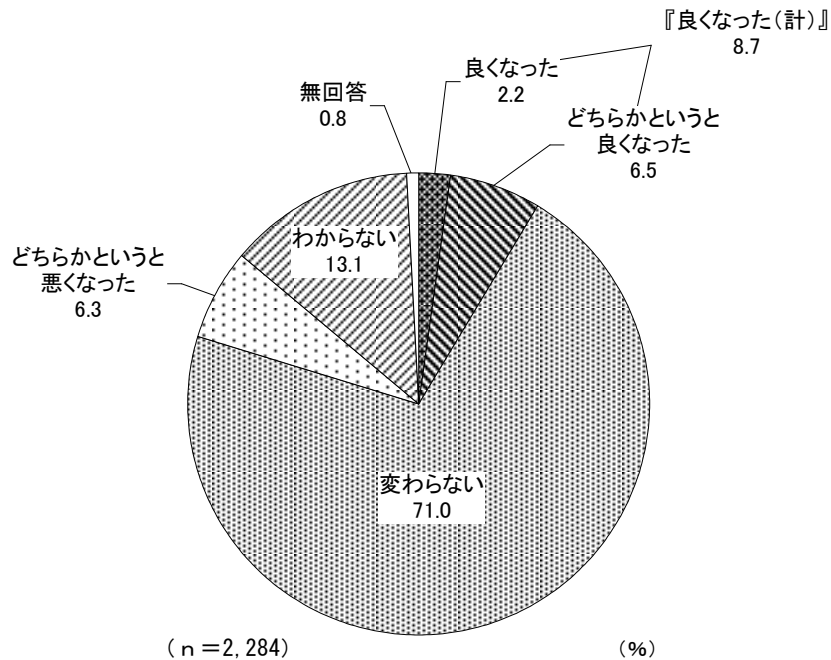
■ 災害情報の入手手段・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」が6割

災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（60.1%）が6割で最も高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（52.7%）、「インターネット（区以外のホームページなど）」（47.0%）、「家族・友人・知人・近所」（37.3%）などの順になっている。



■住んでいるまちの治安の変化・・・「変わらない」が7割を超える

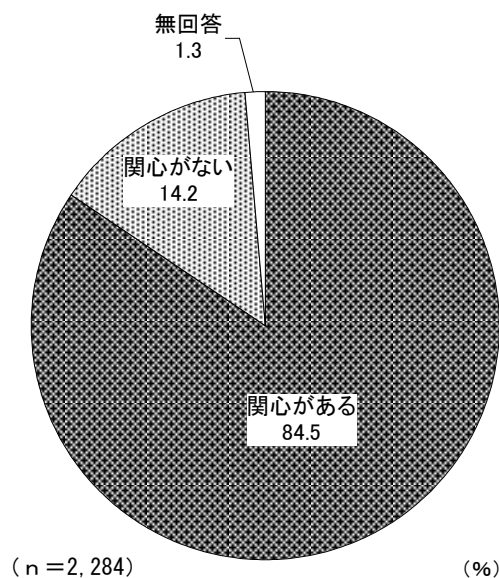
1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化しているか聞いたところ、「良くなった」(2.2%)と「どちらかというと良くなった」(6.5%)を合わせた『良くなった(計)』(8.7%)は1割未満となっている。一方、「変わらない」(71.0%)は7割を超え、「どちらかというと悪くなった」(6.3%)は1割未満となっている。



12. 持続可能な地球環境

■地球温暖化防止への関心度・・・「関心がある」が8割半ば

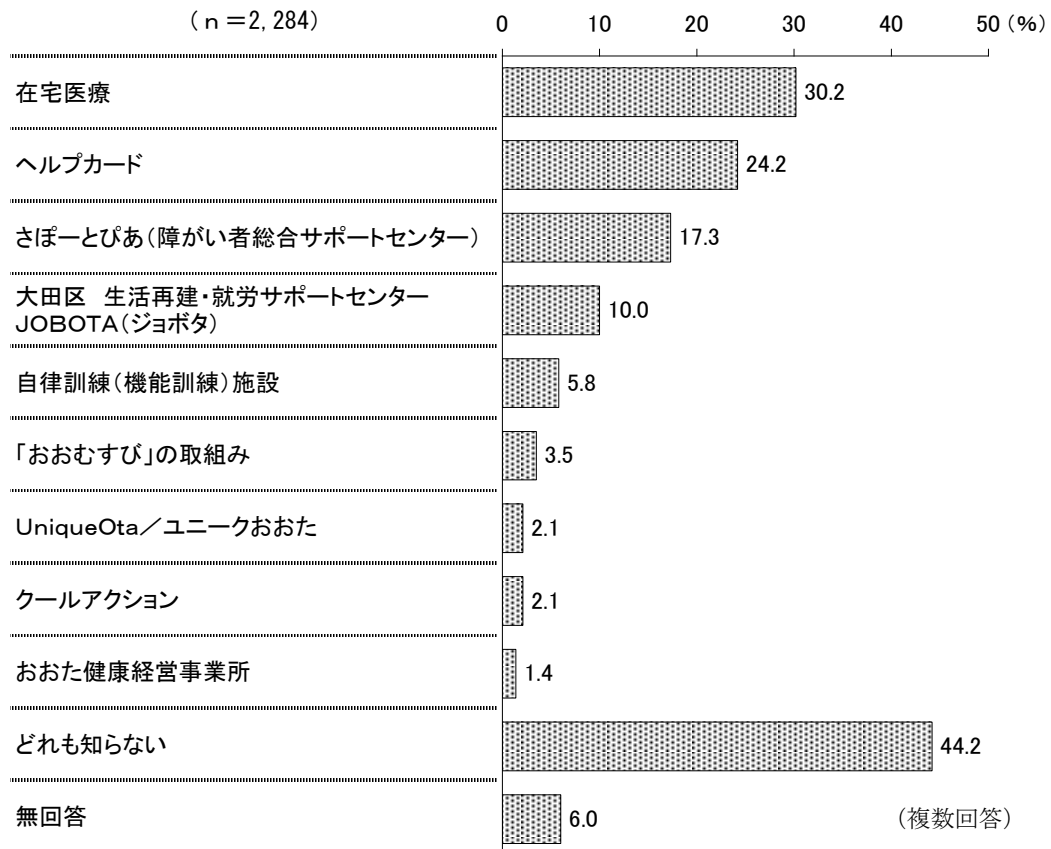
地球温暖化防止に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(84.5%)が8割半ば、「関心がない」(14.2%)は1割半ばとなっている。



13. 区政への関心と要望

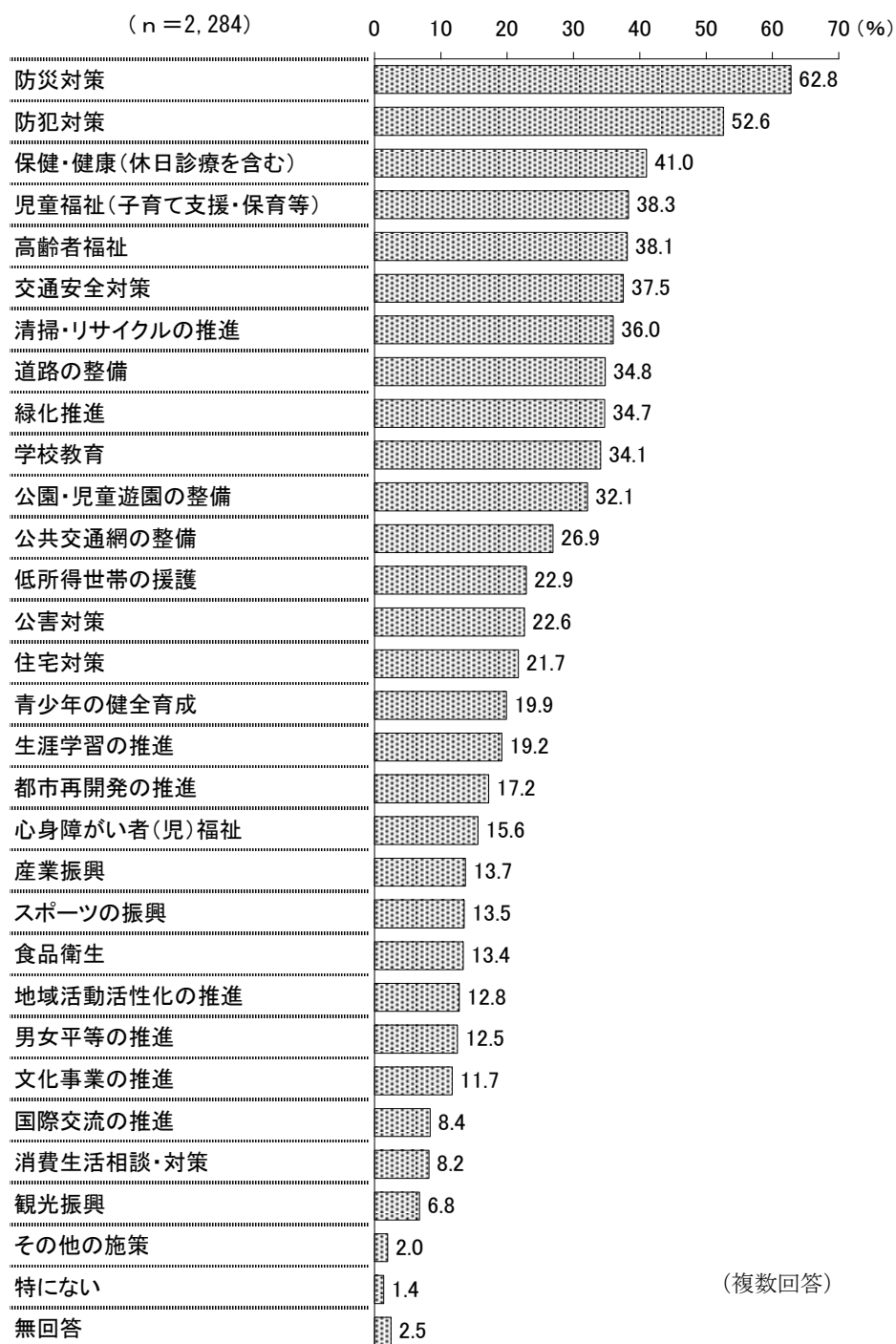
■大田区等の制度・施策・施設の認知度・・・「在宅医療」が3割

区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「在宅医療」(30.2%)が3割で最も高く、次いで「ヘルプカード」(24.2%)、「さぽーとぴあ(障がい者総合サポートセンター)」(17.3%)、「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA(ジョボタ)」(10.0%)などの順になっている。一方、「どれも知らない」(44.2%)は4割半ばとなっている。



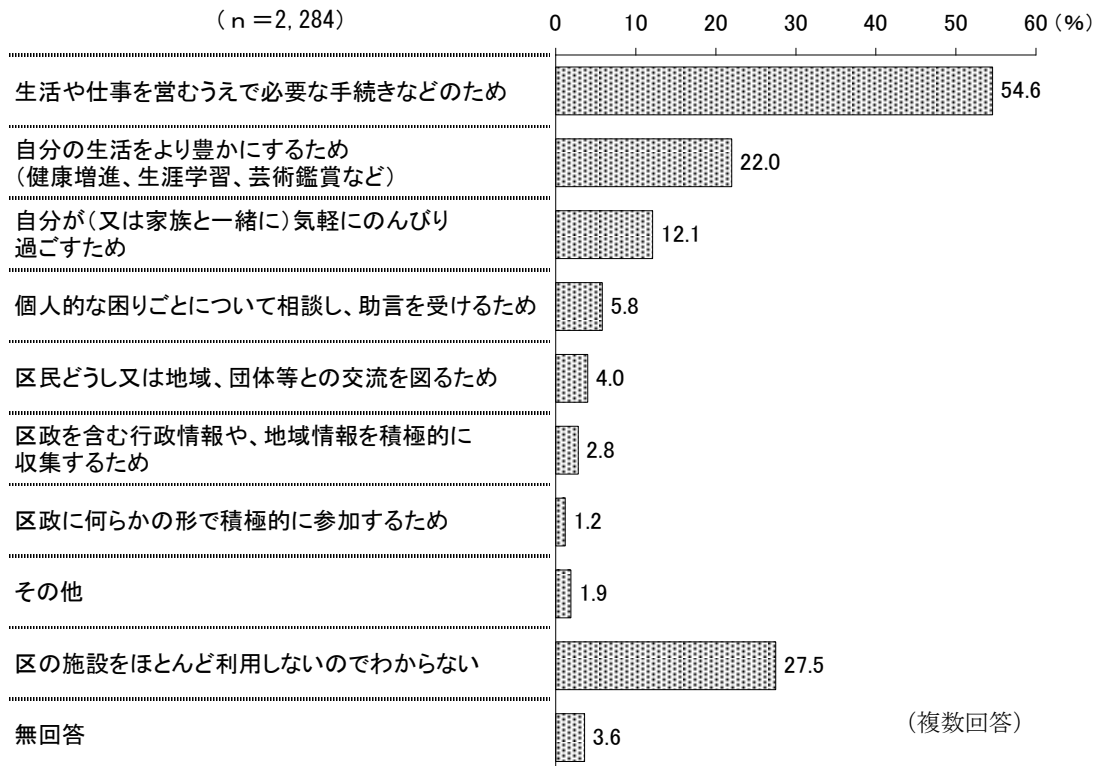
■ 施策要望・・・「防災対策」が6割を超える

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(62.8%)が6割を超えて最も高く、次いで「防犯対策」(52.6%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(41.0%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(38.3%)、「高齢者福祉」(38.1%)などの順になっている。



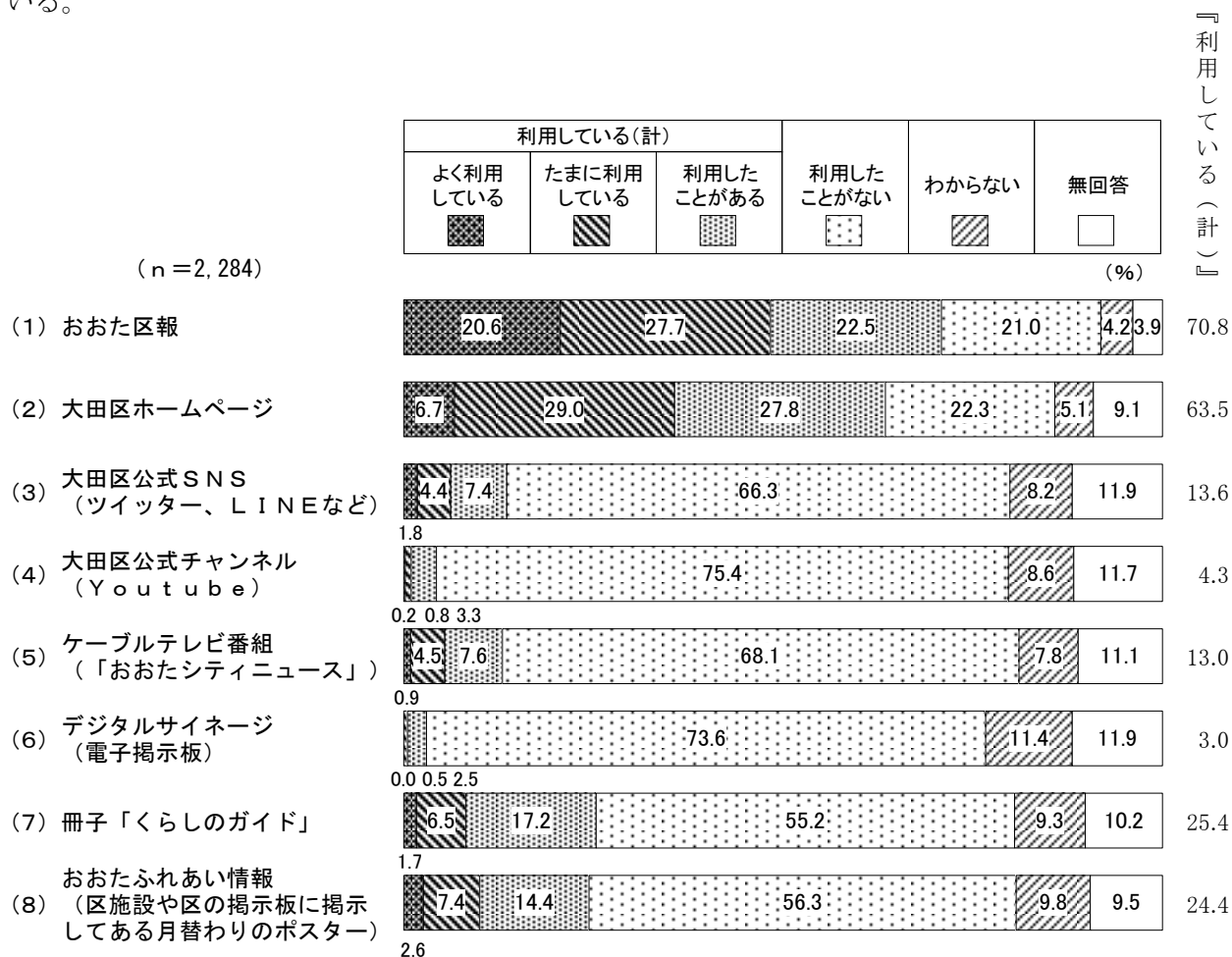
■ 区内施設の利用目的・・・「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」が5割半ば

どんな目的で大田区の施設を利用することが多いか聞いたところ、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」(54.6%)が5割半ばで最も高く、次いで「自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」(22.0%)、「自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため」(12.1%)などの順になっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」(27.5%)は3割近くとなっている。



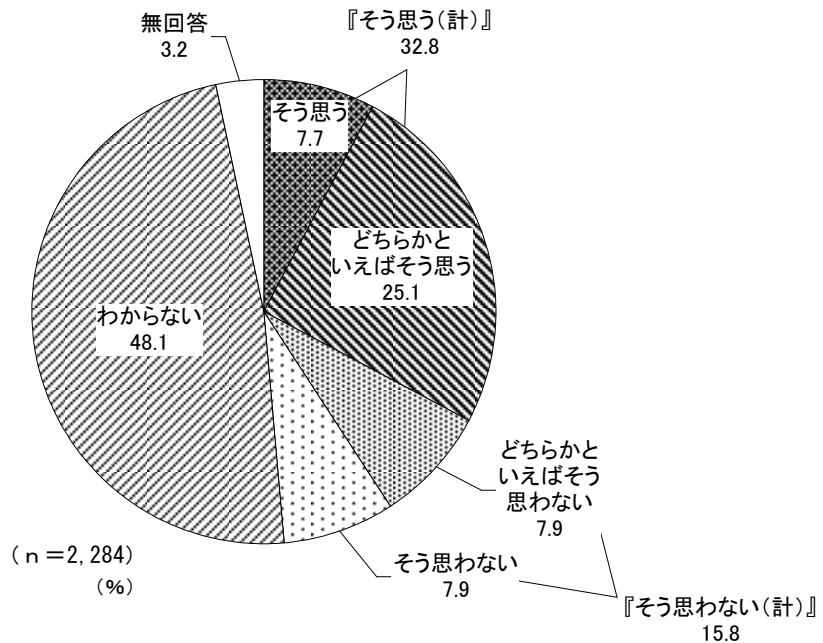
■ 区の媒体の利用頻度・・・『利用している（計）』は“おおた区報”で約7割

区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用しているか聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”（70.8%）で約7割、“大田区ホームページ”（63.5%）で6割を超えて高くなっている。



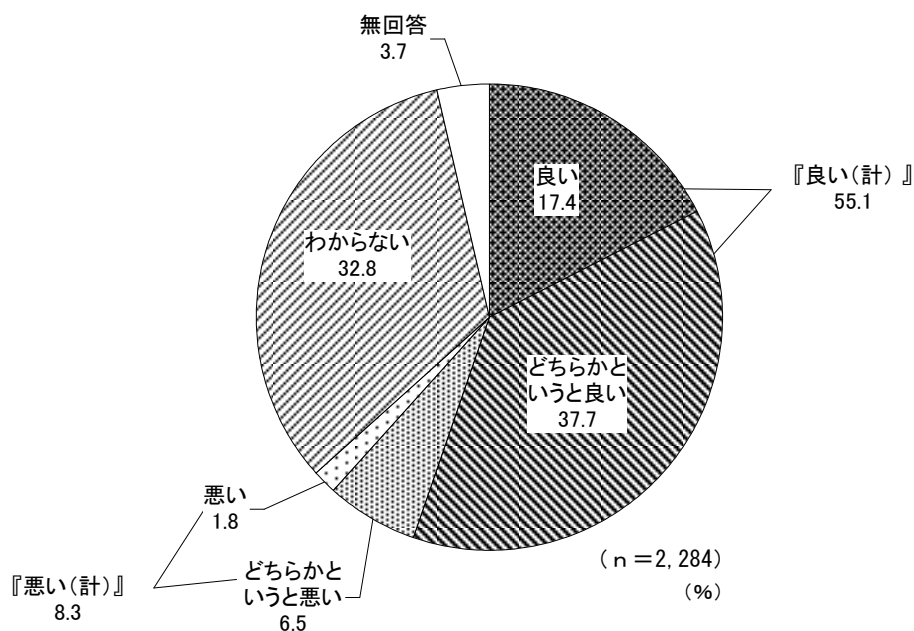
■ 区の行政サービスや窓口への印象・・・『そう思う (計)』は3割を超える

大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思うか聞いたところ、「そう思う」(7.7%)と「どちらかといえばそう思う」(25.1%)を合わせた『そう思う (計)』(32.8%)は3割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.9%)と「そう思わない」(7.9%)を合わせた『そう思わない (計)』(15.8%)は1割半ばとなっている。



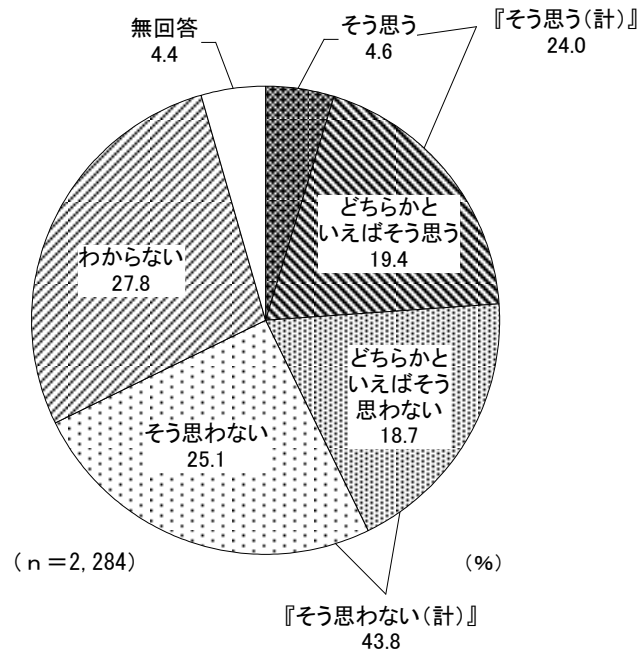
■ 区の職員の窓口や電話応対への印象・・・『良い (計)』は5割半ば

区の職員の窓口や電話での応対について聞いたところ、「どちらかというが良い」(37.7%)が4割近くで最も高く、これに「良い」(17.4%)を合わせた『良い (計)』(55.1%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかというが悪い」(6.5%)と「悪い」(1.8%)を合わせた『悪い (計)』(8.3%)は1割未満となっている。



■ 区政への参加意向・・・『そう思う (計)』は2割半ば

何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(4.6%)と「どちらかといえばそう思う」(19.4%)を合わせた『そう思う (計)』(24.0%)は2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(18.7%)と「そう思わない」(25.1%)を合わせた『そう思わない (計)』(43.8%)は4割を超えている。



大田区政に関する世論調査（概要版）

令和3年12月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1135
FAX：03-5744-1504



©大田区

はねびん